

【Ⅲ－１ 食材料費、光熱費をはじめとする物価高騰を踏まえた対応－①】

① 入院時の食費の基準の見直し

第１ 基本的な考え方

食材費等が高騰していること等を踏まえ、入院時の食費の基準を引き上げる。

第２ 具体的な内容

入院時食事療養（Ⅰ）・（Ⅱ）の費用の額及び入院時生活療養（Ⅰ）・（Ⅱ）のうち食事の提供たる療養の費用の額について、それぞれ１食当たり３０円引き上げる。

改 定 案	現 行
<p>【食事療養及び生活療養の費用額算定表】</p> <p>第一 食事療養</p> <p>１ 入院時食事療養Ⅰ（１食につき）</p> <p>（１）（２）以外の食事療養を行う場合</p> <p style="text-align: right;">670円</p> <p>（２）流動食のみを提供する場合</p> <p style="text-align: right;">605円</p> <p>注（略）</p> <p>２ 入院時食事療養Ⅱ（１食につき）</p> <p>（１）（２）以外の食事療養を行う場合</p> <p style="text-align: right;">536円</p> <p>（２）流動食のみを提供する場合</p> <p style="text-align: right;">490円</p> <p>注（略）</p> <p>第二 生活療養</p> <p>１ 入院時生活療養Ⅰ</p> <p>（１）健康保険法第六十三条第二項第二号イ及び高齢者の医療の確保に関する法律第六十四条第二項第二号イに掲げる療養（以下「食事の提供たる療養」という。）（１食につき</p>	<p>【食事療養及び生活療養の費用額算定表】</p> <p>第一 食事療養</p> <p>１ 入院時食事療養Ⅰ（１食につき）</p> <p>（１）（２）以外の食事療養を行う場合</p> <p style="text-align: right;">640円</p> <p>（２）流動食のみを提供する場合</p> <p style="text-align: right;">575円</p> <p>注（略）</p> <p>２ 入院時食事療養Ⅱ（１食につき）</p> <p>（１）（２）以外の食事療養を行う場合</p> <p style="text-align: right;">506円</p> <p>（２）流動食のみを提供する場合</p> <p style="text-align: right;">460円</p> <p>注（略）</p> <p>第二 生活療養</p> <p>１ 入院時生活療養Ⅰ</p> <p>（１）健康保険法第六十三条第二項第二号イ及び高齢者の医療の確保に関する法律第六十四条第二項第二号イに掲げる療養（以下「食事の提供たる療養」という。）（１食につき</p>

<p>)</p> <p>イ ロ以外の食事の提供たる療養を行う場合 <u>584円</u></p> <p>ロ 流動食のみを提供する場合 <u>530円</u></p> <p>(2) (略)</p> <p>注 (略)</p> <p>2 入院時生活療養Ⅱ</p> <p>(1) 食事の提供たる療養（1食につき） <u>450円</u></p> <p>(2) (略)</p> <p>注 (略)</p>	<p>)</p> <p>イ ロ以外の食事の提供たる療養を行う場合 <u>554円</u></p> <p>ロ 流動食のみを提供する場合 <u>500円</u></p> <p>(2) (略)</p> <p>注 (略)</p> <p>2 入院時生活療養Ⅱ</p> <p>(1) 食事の提供たる療養（1食につき） <u>420円</u></p> <p>(2) (略)</p> <p>注 (略)</p>
--	--